

広島県SDGs未来都市計画

自治体名：広島県（2018年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

広島は、人類最初の原子爆弾による破壊を経験し、その廃墟から復興を成し遂げた地として、「核兵器のない平和な世界」の実現に向けて取り組んできた。
しかし、既存セクターとの相互連携に乏しく、持続可能な平和の取組を進める仕組みの構築ができていない。
そのため、公的セクターだけでなく、民間セクターや若者の参画を図りながら、2045年に向けた次期国連目標に「核兵器のない平和な国際社会の実現」が位置づけられることを目指す。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

「世界平和経済人会議」等の様々な取組を通して、企業やNPO/NGOといったステークホルダーとの連携を深め、平和の取組を生み出すプラットフォームの展開を進めるとともに、SDGs達成に向けた普及啓発を行う。
また、世界の若者を対象に平和学習の機会を提供し、平和の実現に向けた意欲を創出することで、平和貢献人材の育成を図る。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

①「2023世界平和経済人会議ひろしま」の開催
政治、経済、国連・政府機関、大学、研究機関、NPO/NGO 等の各界で活躍する国内外の有識者を招聘し、ビジネスと平和のあり方について、SDGsの考え方を取り入れながら議論した。（ハイブリッド開催・日英両言語対応）
②「SDGsフォーラムin東広島」の開催
広島県内のSDGsの取組促進を目的として「SDGsフォーラムin東広島 ～多様な参加者同士で考える、SDGs達成に向けた次の一歩と連携～」をSDGs未来都市でもある東広島市と連携して開催した。
SDGsに精力的に取り組む様々な主体として、県内外から4名のパネリストを招聘し、事例発表や参加者との参加型パネルディスカッションを実施した。

5. 取組推進の工夫

- ・上記4①の取組において、G7サミットで広島に注目が集まるタイミングを活用し、本県から平和の発信を行い、平和な国際社会の実現に貢献することを目指し開催した。
- ・上記4②の取組において、県全体のSDGs取組を推進していくために、SDGs未来都市の東広島市と連携し、地域の課題やニーズを踏まえて開催した。

6. 取組成果

①「2023世界平和経済人会議ひろしま」の開催
565名が会議を視聴した。
②「SDGsフォーラム in 東広島」の開催
学生や企業、教育機関など幅広い層から18名の参加者があり、参加者の約7割が、「SDGs達成に向けた取り組みのヒントを得ることができた」と回答した。
③プラットフォームに参画する企業・団体数
28団体（2022年）→91団体と増加した。
④県が提供するプログラム等により、被爆、復興の歴史や被爆者医療などについて学んだ人数
73,305人（2022年・累計）→94,772人（2023年・累計）と増加しており、2022年度目標（前年度から16,000人増加・71,585人）を達成した。

7. 今後の展開策

被爆80年となる2025年に向けて、「世界平和経済人会議」の開催や特設ウェブページ開設など、核兵器のない平和な世界の実現に向けた取り組みの規模を拡大し、プラットフォームへの賛同者を増やしていく予定である。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

独自のウェブサイト「国際平和拠点ひろしま」を構築し、SDGsを含む県の平和に向けた取組等を日英両言語で広く発信・共有している。

SDGs未来都市進捗状況結果報告シート

2018年度選定

広島県

2024年9月

SDGs未来都市計画名

広島県 SDGs未来都市計画

広島県 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

（1）2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	SDGsビジネス事業化企業【16.4, 9.5, 17.16】	2020年 11 件	2023年 14 件	2030年 20 件	33%	順調に進捗しており、引き続き、独自計画で進捗を確認していく。
2	県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数【4.4, 4.5, 10.2, 17.16】	2020年 28,585 人	2023年 94,772 人	2030年 200,000 人	39%	順調に進捗しており、引き続き、独自計画で進捗を確認していく。
3	国連（等）で意見表明する資格を有するNGO等と連携した数【4.4, 4.5, 10.2, 17.16】	2020年 0 団体	2023年 12 団体	2025年 20 団体	60%	順調に進捗しており、引き続き、独自計画で進捗を確認していく。
4	エコツーリズムとピースツーリズムを融合した新たなツアーコースの数【12.2, 8.9, 17.16】	2020年 2.0 件	2023年 17 件	2030年 5 件	500%	目標達成できており、独自計画では本県でしか得られない高い価値を提供できる観光プロダクトの開発に取り組む予定。

（2）自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	①平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の展開	プラットフォームに参画する企業・団体数	2020年 0 団体	2023年 91 団体	2023年 200 団体	46%	引き続き、独自計画で進捗を確認していく。
2	①平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の展開	国際平和拠点ひろしまのウェブサイトの会員数及びSNS等の登録者数やアクション数の月間の平均値	2020年 9,600 件	2023年 17,233 件	2023年 22,000 件	62%	目標達成度が低いため、独自計画ではKPIを見直しており、引き続き、独自計画で進捗を確認していく。
3	②地元民間セクターのSDGsへの参画の促進	環境・エネルギー分野の取組企業数	2020年 127 社	2023年 155 社	2023年 150 社	122%	順調に進捗しており、引き続き、独自計画で進捗を確認していく。
4	②地元民間セクターのSDGsへの参画の促進	環境・エネルギー分野の付加価値額（売上額）	2020年 684 億円	2023年 850 億円	2023年 802 億円	141%	順調に進捗しており、引き続き、独自計画で進捗を確認していく。
5	③平和人材育成プラットフォームの活用	県が提供するプログラム等により、被爆、復興の歴史や被爆者医療などについて学んだ人数	2020年 28,585 人	2023年 94,772 人	2023年 71,585 人	154%	順調に進捗しており、引き続き、独自計画で進捗を確認していく。

（3）第2期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

●特筆すべき事業内容 平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の展開 ●成果 ・プラットフォームの参画団体数：昨年の28団体から91団体へと大幅に増加。ウェブサイトやSNSを通じて広く公募し、過去に本県のSDGs事業に参加した団体への声かけを強化した結果、多くの賛同者を得ることができた。 ・ウェブサイト認知度：ウェブサイトの会員数及びSNS登録者数やアクション数について、2023年度の目標（22,000件）には到達できなかったものの、発信内容の充実やSNSプロモーション広告の活用により、認知度を高めることができた。 ●課題 ・県外の認知度：ウェブサイトの認知度は確実に高まっている一方で、プラットフォームの県外での認知度が低い。 ・ターゲットの明確化：プラットフォームの参画団体を拡大するためには、ターゲットの明確化が必要。 ●今後の展望 ・KPIとターゲットの見直し：2024年度中にターゲットを明確化し、KPIの見直しも視野に検討を進め、目標達成に向けて取り組む予定。 ・被爆80年に向けた取り組み：被爆80年を迎える2025年に向けて特設ページを開設し、サイト訪問者参加型のコンテンツや平和学習コンテンツの充実に取り組むことで、核兵器のない平和な世界の実現に向けた賛同者をさらに拡大する予定。
--

（4）有識者からの取組に対する評価

・平和構築の観点を前面に掲げた貴県のSDGs未来都市計画の取組はユニークであり、このテーマで各種取組を更に展開されていくことを期待する。その際、会議の開催などにより意識向上や対外的な発信が主要な取組に位置付けられているが、平和貢献の人材育成の観点や、こうした取組の結果、県民の行動変容にどのように貢献できたか？ またそれらを今後どのように発展させていくのか？ についても今後検討されることを勧める。 ・プラットフォーム自体というよりも、大事なのはプラットフォームで何をやるかということ。KPI設定においてはその点を重視していただきたい。
--